

2026年2月17日

新たな低分子医薬品の創出に向けて 帝人ファーマとあすか製薬が共同研究契約を締結

帝人ファーマ株式会社
あすか製薬株式会社

帝人ファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：種田 正樹、以下「帝人ファーマ」）と、あすか製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口 惣大、以下「あすか製薬」）は、このたび、婦人科疾患領域を対象とした新規低分子医薬品候補化合物の創出を目的とする共同研究契約を締結しました。

1. 背景・経緯

- （1）低分子医薬品の創出プロセスでは、まず膨大な化合物群の中から、治療標的となる分子に作用する化合物（ヒット化合物）を探索します。続いて、これらヒット化合物の構造を段階的に最適化することで、望ましい薬効や体内動態、安全性を備えた低分子医薬品候補化合物を特定します。
- （2）帝人ファーマは、コンピューターによる分子設計技術(Computer-Aided Drug Design、以下「CADD」)とAI創薬技術を活用した化合物探索・構造最適化の高度化・効率化を推進してきました。シミュレーションや予測モデルに基づく精度の高い分子設計により、創薬プロセスの迅速化と成功率向上が期待できる研究基盤を有しています。
- （3）あすか製薬は、産婦人科、泌尿器科、内科（消化器・甲状腺）領域に強みを持つスペシャリティーファーマとして、実臨床ニーズに根ざした創薬基盤を蓄積してきました。特に女性のトータルヘルスケアにおけるアンメットメディカルニーズを重視しており、女性のライフステージに寄り添った製品を多数展開しています。
- （4）このたびの契約は、帝人ファーマが有するCADDおよびAI創薬技術と、あすか製薬の婦人科領域における疾患知識、薬理評価基盤、創薬ノウハウを組み合わせることで、婦人科疾患領域における新たな低分子医薬品候補化合物の創出を加速し、画期的な新薬の早期創出を目指して締結したものです。

2. 今後の展開について

帝人ファーマとあすか製薬は、両社の強みを掛け合わせることで、創薬プロセスの迅速化と成功率の向上を目指します。また、婦人科領域における未充足ニーズの解決に貢献し、人々の健康で快適な暮らしの実現に資する革新的治療の早期実現に取り組んでいきます。

以上

【報道関係のお問合せ先】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055
あすか製薬株式会社 経営企画部 TEL: (03) 5484-8366